

一般社団法人 福岡県精神保健福祉士協会

- 会長(代表理事):今村浩司(西南女学院大学教授)
- 組織内容:精神保健福祉士(国家資格)の職能団体
- 会員数:381名
- 所在地:福岡市博多区博多駅前3-9-14フォオ博多502号室



わたしたちの取り組み

取組風景

一般社団法人 福岡県精神保健福祉士協会

精神保健福祉士とは

精神保健福祉士とは、精神保健福祉領域のソーシャルワーカーの国家資格です。社会福祉学を学問的基盤として、精神障がい者の抱える生活問題や社会問題の解決のための援助や、社会参加に向けての支援活動を通して、その人らしいライフスタイルの獲得を目標としています。



認知症啓発研修会の様子

取組内容

- 本協会は、福岡県において精神保健福祉士の資質の向上を図るとともに、メンタルヘルスやこころの健康領域におけるソーシャルワークに関する普及啓発等の事業を行い、メンタルヘルスに課題を持つ方々の社会的復権と福祉のための活動を進めることにより、精神保健福祉の増進に寄与することを目的とする職能団体です。
- 北九州市においては、医療法人 小倉蒲生病院などの指定医療機関5か所が「認知症疾患医療センター」を運営しています。その中で認知症に関する相談全般、専門加療・鑑別診断、他機関との連携などの業務に、精神保健福祉士も取り組んでいます。そのほか家族会へのアドバイザー出席、地域講座への講師派遣、認知症疾患医療連携協議会の開催、初期集中支援チームとしての活動、研修会の開催など、認知症に関する様々な取り組みを行なっています。(写真は小倉蒲生病院提供)

取組への思い

- 医療機関としての疾患治療に留まらず、地域に向けた情報発信や啓発活動に取り組むことで早期介入するきっかけを作り、結果として本人の不安軽減や、介護家族などの負担を軽減することに少しでも早く繋がればと考えています。これからも様々な機関と連携しつつ、多角的な支援を展開できるよう尽力していきたいと考えています。

